

平成22年第8回教育委員会臨時会

開会年月日 平成22年7月20日(火)

場 所 教育委員会室

出席者 教育委員会 委員長 外松和子
同 委員 内藤幸子
同 委員 天沼英雄
同 委員 安藤睦美
同 教育長 園部俊介

議 題

1 議案

(1) 議案第39号 特別支援学級教科用図書の採択について

2 答申

(1) 小学校教科書協議会からの答申について

(2) 小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申について

開 会 午後 2時00分

閉 会 午後 3時40分

会議に出席した者の職・氏名

学校教育部長	室地隆彦
庶務課長事務取扱学校教育部参事	阿形繁穂
同 教育指導課長	吉村 潔

傍聴者 0名

委員長

ただいまから、平成22年第8回教育委員会臨時会を開会する。

それでは、案件にそって進める。

本日の案件は、議案1件、答申2件である。

初めに、会議の進行等について確認をする。

答申の(1)番、「小学校教科書協議会からの答申について」、答申の(2)番、「小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申について」が提出

されている。これらの案件については、7月12日の第13回定例会において秘密会で行うこととしたため「非公開」とする。

また、特別支援学級教科用図書の採択にかかる議案第39号については、案件の最後に行いたいと思う。なお、この案件の採択本を決定する審議は公開で行う。

では、答申の(1)番から始めたいと思う。

小学校教科用図書については、本年4月に「教科書協議会」を設置し、平成23年度から使用する図書に関しての調査・研究をお願いした。

そこで、この教科書協議会からの答申等の内容について説明を受けたいと思う。教科書協議会の会長に入室をお願いする。

植村小学校教科書協議会会長 入室

委員長

それでは、早速であるが、植村小学校教科書協議会会長から答申内容の説明をお願いします。

小学校教科書協議会会長

それでは、答申をさせていただきます。

去る4月26日に教育委員会から諮問を受けた。平成23年度から使用する小学校教科用図書について、教科書協議会では慎重に審議を重ね、7月20日に答申として提出させていただきました。

平成22年4月9日付けによる文部科学省からの通知では、平成23年度から使用する小学校教科用図書について、新たに採択した教科用図書を供与・支給することが示されている。このことから、練馬区教育委員会の練馬区立学校教科用図書採択要綱の規程にのっとり、新規検定本の教科用図書については、原則どおり調査委員会及び各校研究会に対して調査・研究依頼を行った。そして教科書協議会として報告を受けた。

今回、報告を行う教科用図書は、平成20年3月に告示された「新しい学習指導要領」に基づき、平成21年度文部科学大臣により検定を経た図書で、総数51種280点上る図書を実際に手に取り、平成22年4月26日付け東京都教育委員会教育長からの、平成23年度使用教科書の採択方針を踏まえて慎重に審議を行った。

それでは、1ページ目、諮問では、検定済みの教科用図書について、小学校学習指導要領に示された各教科領域の目標等を勘案して答申することとあったので、種目、教科ごとであるが、学習指導要領における目標などと、今回の教科用図書作成の傾向について、若干触れさせていただく。

最初は「国語」からである。

「国語」については、国語を適切に表現し、理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力、及び言語感覚を養うことなどが目標として示されている。「話すこと、聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の3領域に対応した教材を、各社とも効率よく配列した構成になっている。また、教材本文と言語指導や読書指導などの資料となる部分を分けるなど、調べ学習にも対応した工夫がされていた。言語活動の充

実という点では、どの教科書会社も大変工夫がされていた内容であった。

「書写」では、字形や字配りなど、基本的な内容を各社ともわかりやすい表記で示し工夫をしていた。また、書写の学習内容を他教科や生活の中に活かせるような教材の構成ともなっていた。

続いて「社会」である。

「社会」については、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うため、学び方や調べ方を身につけるための学習の題材が工夫されており、社会的事象を多面的に考察し、公正に判断する力を育成するような構成になっていた。

また、各社とも問題解決的な学習や発展的な学習を進めるページを設定し、写真や図表などの資料も豊富に用意され、また、資料そのものにも随分工夫が加えられながら、児童の興味・関心に対応できるような構成となっていた。

次に「地図」である。

「地図」については、これは社会科の学習指導要領に目標が示されたとおりである。そして各社ともに、色等の配慮、使いやすさという面に工夫がされており、子供の実態に沿う興味・関心を考えた構成となっていた。

「算数」については、算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的、基本的な知識、及び技能を身につけ、日常の事象について見通しを持ち、筋道を立てて考える能力を育てるとともに、数理的な処理のよさに気づき、進んで生活に活かすという目標になっている。各社とも、生活に活かす場面、子供の実態をよく考えているそういった場面を多く設定するとともに、子供の興味・関心を喚起し、学習したことを深め、広げられるような発展的な内容の記述にも配慮がなされていた。

続いて「理科」である。

「理科」については、見通しを持って観察・実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物や現象の理解を図り、科学的な見方や考え方を養うという目標に沿うように、各社とも工夫した教科書づくりをしていた。特に各社とも、児童の発達段階に合わせた興味や関心を持続させ、学習に意欲的に進むような工夫がなされていた。

「生活」については、具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身につけさせ、自立への基礎を養うことが目標になっている。各社とも、子供の身近な事象と直接かかわる活動の楽しさやおもしろさを表現し、身近な事象への関心や活動の意欲を効果的に高めるような工夫がされている。また、「社会」や「理科」、総合的な学習の時間への発展を意識した教科書づくりをしていた。

続いて「音楽」である。

「音楽」については、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うことが目標になっている。各社とも、活動場面を写真などで具体的に示し、学習活動を児童が主体的に取り組めるような工夫がされていた。

続いて「図画工作」である。

「図画工作」については、表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながらつくり出す喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を育てることを目標としており、各社とも、子供たちの感性が高められるような豊かな表現活動の展開に工夫がされ、題材にも興味・関心が持てるような工夫が図られていた。

続いて「家庭科」である。

「家庭」については、日常生活に必要な基礎的な知識及び技能を身につけ、家庭生活を大切にできる心情を育み、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てることを目標としている。各社ともに、日常の事象を広くとらえられるとともに、「衣・食・住」についての実践的・体験的な活動が展開されるように構成が工夫されていた。

最後になる、「保健」である。

「保健」については、適切な運動の経緯とか健康、安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持・増進と体力の向上を図ることを目標としており、各社ともに健康、安全や生活環境への配慮などを中心とした教科書づくりに工夫がされていた。

以上のとおり、学習指導要領に示されている各教科の目標を踏まえるとともに、「練馬区立学校教科用図書採択要綱」、及び「練馬区立学校教科用図書採択要綱事務施行細目」に基づき審議した。協議会の報告は、答申書の1ページから21ページまで種目ごとに記載しているので、お目通しをいただければと思う。

最後に、審議経過について説明する。答申書最後のページ、平成22年度教科書協議会の開催状況、及び委員は記載のとおりである。

以上のとおり答申をさせていただいた。よろしくお取り計らいいただくようお願いする。以上である。

委員長

ただいま説明があった答申内容について、各委員からご意見、ご質問をお聞きしたいと思う。いかがか。

天沼委員

まず、後ろに委員が並んでいるが、これは全教科全員がごらんになったのか。それとも分担されて、この先生には「国語」をお願いする、あるいはこの方には「理科」をお願いするというふうに、分担をされて審査をしていただいたのか。

小学校教科書協議会会長

全員で審査をして進めた。

教育長

調査委員会が主体になるが、調査委員会も協議会に上がってくるので。

内藤委員

教科書のサイズが変わってきている会社もあると思う。大きくして扱いがいいとか悪いとか、そのようなことについては意見交換されたのか。

小学校教科書協議会会長

縦長のA4判と横長のA4判というのがある。また、そのサイズでもないものもあるので、どうしたものかという意見も出ていた。

委員長

その辺は検討課題になるのだろう。ほかにはいかがか。

内藤委員

各校の研究会からの意見については、どういうふうな扱われ方をされたのか。

小学校教科書協議会会長

調査委員会のほうから上がってきた調査項目内容だけだと、全体としてどうだろうというのが幾つかあったので、内容によっては各校のものを全部見直した。

委員長

よいか。

天沼委員

ここに上がっている内容は指導要領に基づいて検定されているので、内容そのものについては、それが先生方の利用しやすいものかどうかというところまで、あまり深く踏み込んでいないと思うが、中にはちょっと拝見すると、指導書がどんなものがそこに記載されるかによって、また使い方がその時点でどうなるかというのはわからないが、そういった各社ごとの軽重というか、ある点ではかなり丁寧なところ、ある点では軽く記載されている、ある点ではフリガナが振ってあって、あるところではない、あるところはその資料は載っているが、全くないとか、そういうふうなところがちょっと見られたところがあって、そういう点での内容を盛り込んだ議論はあったか。

委員長

内容に関しての議論がある程度あったのかということである。

小学校教科書協議会会長

かなりあった。各社ともその辺が特色としてあるので、随分違う点については委員の中にも意見が出ていた。

天沼委員

特にそれはどの教科であったか。

小学校教科書協議会会長

理科とか算数、問題解決的な学習という点の進め方だろうと思うが、扱い方の場面だとか、題材としての内容だとかの違いが見られた。

教育長

我々も事前に教科書を見ていて、出版社によって、同じ教科でもかなりページ数の差がある。これは毎回、これまでの採択したところでも、何十ページも違うのがあったりするから、厚ければいいというものではなくて、厚いと教えないで終わってしまう場合もあるし、それはなかなか難しい。今、植村会長がおっしゃったように、特に算数と理科は時間数も増えて、だから、各社とも今までの教科書とは随分違うと思うが、その辺、協議会で皆さん方の印象はどうだったのか。

小学校教科書協議会会長

上下巻分冊と上下巻合冊というのがある。それはどうしてそういうふうに分かれたのかわからないのだが、内容が1年間これだけあるということで分冊せざるを得なかったと考えている会社もあれば、合冊させることによって1年間見通しさせたい、そういうような意向があったのではないか、そんな意見も出ていた。

委員長

先ほどの教育長のお話のように、新学習指導要領を受けての教科書会社の教科書のつくり方の相違があったようである。

教育長

教科書協議会は、どの教科書がいいというのが役目ではなくて、それぞれの教科書の特色なり、優れている点をいろいろ調べていただいたものである。これを教育委員会としては受けて、これを参考に見ながらこれから決めていくという段取りになる。この中でも、かなり長いのと短いのがある。これは、短いからだめだとかそういう意味ではないので、今までも理解を示したことがいっぱい書いてある。

天沼委員

教科書の中に練馬区のことを題材になっている問題が幾つかあったと思う。それについての評価とかご意見などはどのようなものがあったか。

小学校教科書協議会会長

地元のだからという見方ではなく、全体的に通して教科書という扱いであるので、そのあたりの論議は出てはいなかった。

教育長

お忙しい中、皆さん、それぞれ3時間とか4時間とか長い時間やっておられて大変だったと思う。

委員長

いろいろご意見ありがとうございます。ただいま教育長がお話しされていたが、協議会においては、新年度がスタートした本当に校務多忙な中立ち上げていただいて、さまざまな視点から検討していただいて、このように答申という形にまとめてくださったことに、教育委員会として本当にそのご尽力に深く感謝申し上げたいと思う。また、携わってくださった先生方、担当の方どうぞよろしくお伝えしたい。ご苦労さまであった。

植村小学校教科書協議会会長 退室

委員長

では続いて、答申の(2)番に移る。

特別支援学級で使用する教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条によって、毎年度採択替えができることになっている。

このため、本年4月に、特別支援学級教科用図書の採択にかかる「調査委員会」を設置し、調査・検討をお願いした。

そこで、「調査委員会」からの答申内容について説明を受けたいと思う。小学校、中学校、それぞれの「調査委員会」会長に入室をお願いする。

小笠原小学校特別支援学級調査委員会会長

室賀中学校特別支援学級調査委員会会長 入室

委員長

早速であるが、小学校特別支援学級教科用図書の答申について、小笠原会長からご説明をお願いしたいと思う。

小学校調査委員会会長

保護者2名、教員2名で検討した、その結果をご報告させていただく。

1番目、『ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2』

1点目、本に直接書き込むことができ学習に利用しやすい。2点目として、子供たちが興味・関心を持ち、学習しやすい内容である。3点目、取り上げている漢字の数が適切であるという意見が出た。

2番目の『漢字えほん』（書写）研究の内容である。

1点目、カラーで書かれていて、色遣いが工夫されており、子供の興味・関心を引く内容である。2点目として、漢字の成り立ちに興味を持てるような内容になっており、また、その漢字を使った例文がすべての字について示されている。

3番目、『とけいカード』（算数）である。

1点目、カード形式で使いやすく、カードの大きさや厚さなど子供が扱いやすい。2

点目に、視覚に訴える教材で、「時間」に対して子供の興味・関心を引き、学習内容を理解しやすい。3点目、生活の時程が書き込めるシートが用意されており、学習したことを生活に活かすことができる。

4番目、『はっけんずかん どうぶつ』（理科）

1点目として、絵が親しみやすく、さらに窓あきしかけで子供の興味・関心を引く。2点目、まどの問いかけの言葉で、子供が自分で考えながら読むことができる。3点目、絵を見ることでそれぞれの動物の生息環境をイメージできるような工夫がされている。4点目として、取り上げている動物の数が多く、たくさんの動物について知ることができる。

5番目、『はっけんずかん むし』（理科）

1点目に、親しみやすい絵や窓あきしかけで、子供が虫に親しめるよう工夫がされている。2点目、窓の問いかけの言葉で、子供が自分で考えながら読むことができる。3点目、生息地や季節ごとにまとめて書かれているページがあり、子供が虫の活動する場所や季節を意識しやすい。

6番目、『はじめまして にほんちず』（生活）

1点目に、カラフルではっきりした絵が子供の興味・関心を引く。2点目、それぞれの地方の特徴についてわかりやすく書かれている。

7番目、『はじめまして せかいちず』（生活）

1点目に、カラフルではっきりした絵が子供の興味・関心を引く。2点目、それぞれの大陸ごとに特徴が分かりやすく書かれている。

以上、新規採択候補図書の調査研究結果について説明した。

委員長

新しい7冊についての説明をいただいた。

では、続いて、室賀中学校調査委員会会長から答申内容の説明をお願いします。

中学校調査委員会会長

5月7日に教育委員会から委嘱を受けた教員2名、保護者2名の代表の方と一緒に審議を重ね、7月20日に教育委員会で答申を提出した。

まず資料3、中学校調査委員会は、特別支援学級設置各校に設けられた各校の研究会に対し、学校教育法附則第9条にかかわる図書の研究を依頼した。また、中学校調査委員会は、5月から4回の会議を開催し、各校研究会からの報告書や東京都調査研究資料等を参考に、慎重に研究・検討を行ってまいった。

それでは2ページ、記書きの1、調査研究を行った図書数であるが、各学校の意向を尊重し、69冊の図書を調査研究した。継続採択候補図書58冊、新規採択候補図書11冊である。種目ごとの冊数及び図書名等の詳細については7ページ以降に掲載しているので、お目通しいただければと思う。

次に記書きの2、調査研究における意見等である。図書の調査研究にあたっては、各研究校の意見を尊重するとともに、生徒にとって適切であるかどうか図書の内容を整理し、調査研究した。

続いて、新規採択候補11冊についてご説明する。

最初に、『ぜんまいざむらい ことばの免許皆伝』(国語)

最初に、生徒に親しみやすいキャラクターを使っており、楽しく活用できる。ことわざや四字熟語も、漫画を使いわかりやすく楽しく学習できるようになった。回文や早口言葉など楽しみながら言葉の学習ができる。小判のため、若干文字が読みづらい。

続いて、『読んで見て楽しむ都道府県』(社会)

地図だけではなく、各都道府県データやカラー写真等楽しく学習できる。文字が小さいが、全てにルビがあり読みやすい。各県ごとに1ページ使用しているのも見やすい。名所、観光スポット、有名な食べ物など同じページに載っていて、県ごとの特徴がわかりやすい。ページ後半に生産量や産地など興味のある内容がグラフや地図を使って調べやすい。本格的な地図が使われ、将来的にも有効である。

3番目、『楽々算数ブック1』(数学)

計算の基礎をわかりやすく学習できる。数を紙に書いてパターンとして覚えるのではなく、実生活の概念と結びつけて視覚的に学べる。タイル等(視覚)を使った表記で数の概念がわかりやすい。ドリル形式で書き込みながら学習ができる。

続いて同じシリーズの『楽々算数ブック2』(数学)

たくさん問題演習があり、書き込みして使いやすい。興味を持って取り組めるようキャラクターを多く載せている。タイルや身近なイラストを使って考え方や計算の方法を説明していて分かりやすい。内容も『楽々算数ブック1』からのステップを感じるので、シリーズで使うのが好ましい。単位の学習がわかりやすい。

ということで、また次も同じ『楽々算数ブック3』、シリーズ物であるので、ほぼ似たような内容になるが、扱っている内容によって若干コメントも変わっている。

計算だけでなく、時間、長さ、重さ、大きな数と生活に必要な内容がバランスよく配列されている。かけ算や割り算の計算が、位の記入がしやすいように線が引かれていたり、枠があったり数字が書きやすい形式である。計算は基本的問題で文章題もあって応用できるようになっている。『楽々計算ブック1・2』に続き、段階を踏んで配列されていて、系統性がある内容になっている。数学は以上である。

『理科に強くなる なるほど学習クイズ』(理科)

クイズ形式で多方面にわたって理料的な学習ができる。自分の身の回りの事象の内容が多く楽しく学習できる。答えは次のページに載せるなど配慮してある。答えの説明も記述されている。

続いて『合唱曲集 TOMORROW 3訂版』(音楽)

合唱コンクールや練習によく使用されやすい内容である。なじみのある新しい曲がたくさん入っていて、生徒が興味・関心を持てる。作曲者のメッセージなど工夫されている。

『ひらめき美術館1』(美術)

名画が詳しく鑑賞でき、併せて作者についても興味を引きやすく学習しやすい構成である。たくさんの感想やクイズがあり、親しみやすい。世界の画家の絵がカラーで載っていて、半分のページにはその絵の特徴が短い文で説明されていてわかりやすい内容となっている。

『音筆で楽しく学ぶはじめての英語』(英語)

日常生活の基本的な会話や、絵や写真も多く、生徒にとって大変親しみやすい内容である。様々な段階の生徒に興味を持たせることが出来る内容である。

続いて『新・学研の英語ずかん 第4巻おもしろかいわ ひとくち表現集』(英語)

大判で見やすく、カラー印刷も生徒の目を引くきれいな出来である。イラストも人物の表情が細かく表現されており、会話の内容を理解しやすい。情報量が多く、視覚的にまとまりがない印象がある。

続いて 同じシリーズの第4巻、『新・学研の英語ずかん 第4巻おもしろ場面別表現集』

大判で見やすく、カラー印刷も生徒の目を引くきれいな出来である。イラストが場面をよく現している。場面に応じた会話で扱いやすい。調べ学習にも使える内容である。

以上、新規採択候補図書の調査研究結果について説明した。

次に6ページ、別紙2、中学校調査委員会の審議経過等である。また参考資料として、各校研究会の研究報告を11ページ以降に添付している。お目通しいただければと思う。

以上で、中学校調査委員会の答申説明を終わる。

委員長

新規採択候補の11冊について詳細な説明をいただいた。では、ただいま説明があった答申内容について、各委員からのご意見、ご質問をお聞きしたいと思います。

天沼委員

中学校の特別支援学級教科用図書の別紙の中で、最初にご紹介いただいた『ぜんまいざむらい』の最後のところ、「若干文字が読みづらい」というのがあった。それから、飛んで『新・学研の英語ずかん 第4巻おもしろかいわ ひとくち表現集』最後に「情報量が多く、視覚的にまとまりがない印象ある」ここだけに若干使いづらいというような言葉が入っているようだがなぜか。

中学校調査委員会会長

正直に入れたが、『ぜんまいざむらい』のほうは、ごらんいただければわかるが、本自体が大変小さい本であって活字が小さいということで、通常使っている教科書の活字の大きさ等に比べると、小さいというのは否めない事実である。ただ、興味を引きやすいキャラクターを使っているとか、内容の配分とか、子供には大変興味を引きやすい内容であるということで、そういう若干の課題はあるが、全体としてはよろしいのではないかというのが、審議会での意見であった。であるから、この部分は載せなくてもよかったかもしれないが、事実、でも小さいというのは話題に出たので、そこには載せさせていただいた。

それからもう一点、『新・学研の英語ずかん おもしろかいわ ひとくち表現集』これは下のと同じシリーズで、内容的にも大変似てはいるが、ちょっとこちらのほうのイラストの取り扱い方が、パツと見たときにはごちゃごちゃとしたイメージがある。その部分では確かにマイナスであるが、特別支援学級の子供たちに英語を楽しく学ばせる

という点では、全体的には大変プラス評価をもらったので、そのマイナス面もあるが、全体としては「適」ということで協議会のほうではまとめた。

安藤委員

学校によっては検定本を使うというが、練馬区で採択される教科書を使っているのか。

教育指導課長

いわゆる検定本を使っている学校というのは本区では2校ある。それ以外の学校については、今回のような一般図書という形で、それは毎年度採択する際に、その児童・生徒の実態にあわせて、教科書はどういうものを使ったらいいかということを出してくるので、そのたびに若干の変更はあるということである。

教育長

検定本が混ざっているから、石神井、練馬中にしても、教科によって検定本とセットで。旭丘中学校は検定本しか使わないということである。

安藤委員

その検定本というのは、練馬区のほかの中学校で使っている採択したものなのか、それとも教科書検定を通過している、幾つか選べる中のところから選んでいるのかということなのである。内容が少しずつ違うので、子供にあわせてというところで。

教育指導課長

それしか本区は採択していない。

委員長

全く同じものを使用しているということである。

安藤委員

中学校の音楽であるが、ほとんどが合唱の教科書ということであるが、合唱しかしないのか。

中学校調査委員会会長

そんなことはないが、ただ、一番取り組みやすいので歌が非常に多い。器楽もやらないことはないが、確かに合唱曲集は合唱曲ばかりであるから、これはやはり歌のものはある。通常の学級では、教科書のサブとして買うことが多いものであるが、特別支援学級ではこれを教科書として使いたいという学級があったので、それはそれで妥当であろうということである。

安藤委員

器楽とそれ以外のことを教える場合にはプリントなり何なりということ、これが中

心ということであるか。

中学校調査委員会会長

学校の先生によってそれぞれ事情は違うと思う。例えば音楽の免許を持っている教員がいるところといないところはまた違うし、いないところは多分、非常勤講師で対応していたりすることが多いので、その辺の温度差は大きいとは思いますが、本校などの場合であると、器楽の場合は器楽の譜面をそれぞれにつくってやっている。ただ、譜面を読める子が少ないので、実際にはそこに支援員がついて覚えさせてしまうということのほうが多いとは思いますが。

委員長

それでは、小笠原小学校調査委員会会長、室賀中学校調査委員会会長、本当にお忙しいご校務の中、児童・生徒一人ひとりの実態にあわせて種々検討を重ねていただいて、このように貴重な答申をいただいたことを、教育委員会として深く感謝申し上げます。どうぞ携わってくださった方々にもくれぐれもよろしくお伝えいただきたいと思います。本日は本当にありがとうございます。

小笠原小学校調査委員会会長・室賀中学校調査委員会会長 退室

委員長

それでは、これからは教育委員会としての審議に入るので、各委員におかれては、この見本本を点検していただきたいと思う。その後採択をしていきたいと思う。

時間としては3時10分ぐらいを目安にやっていただきたいと思う。3時10分ぐらいになったら、また会議を再開してまいる。そのときは公開として会議を再開してまいるので、よろしく願います。

各委員 見本本の点検